

恋愛と行動経済学

中京大学 古川ゼミ

この発表のテーマ

- ▶ 行動経済学の視点から、「恋愛」について
- ▶ 行動経済学に分析手法の1つであるアンケートをつかって
- ▶ 幸福度、損失回避性、コンコルド効果（後で説明）などの行動経済学の概念と、恋愛の関係について分析しました

最初に

▶ アンケート回答者数...90人

▶ 男女比 男 58%
女 40.9%
その他 1.1%

▶ 年齢 10代 11.4%
20代 83%
40代 1.1%
50代 4.5%



アンケート内容

- ▶ あなたの今の幸せ度は何%ですか
- ▶ あなたが今まで付き合った人の...
 - ▶ 最短の交際人数を教えてください
 - ▶ 最長の交際人数を教えてください

幸福度と交際日数

	幸せ	幸せではない
最短期間	151日	107日
最長期間	1,140日	565日

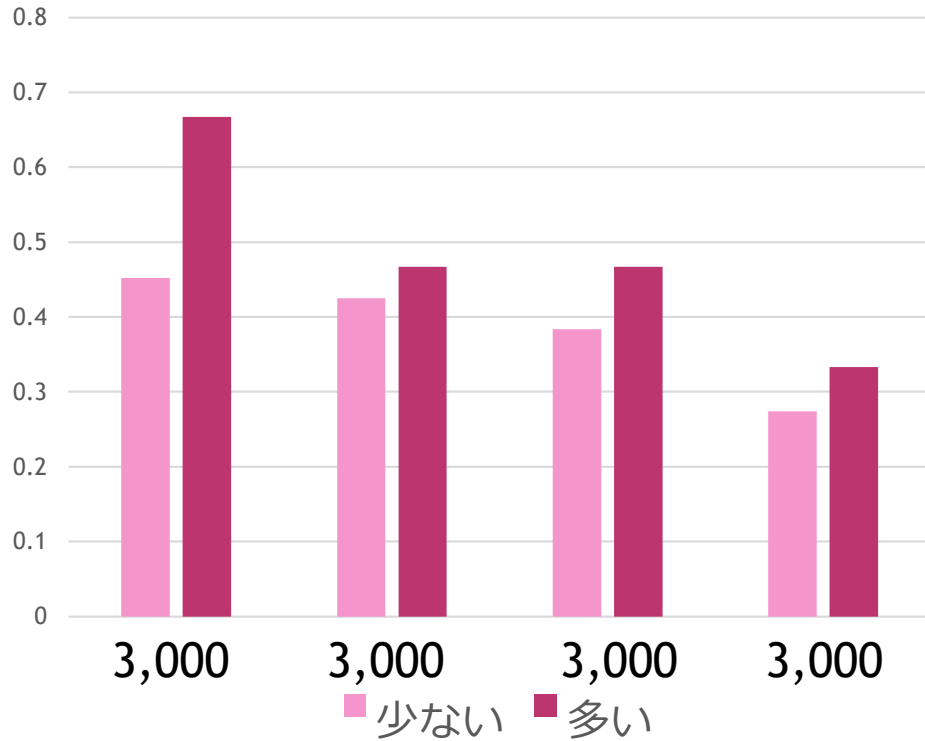


アンケート内容

- ▶ 今までの交際人数は何人ですか
- ▶ あなたはある金額をもらえることになりました。今日か7日後にももらえますが、金額は異なります。どちらを選択しますか。

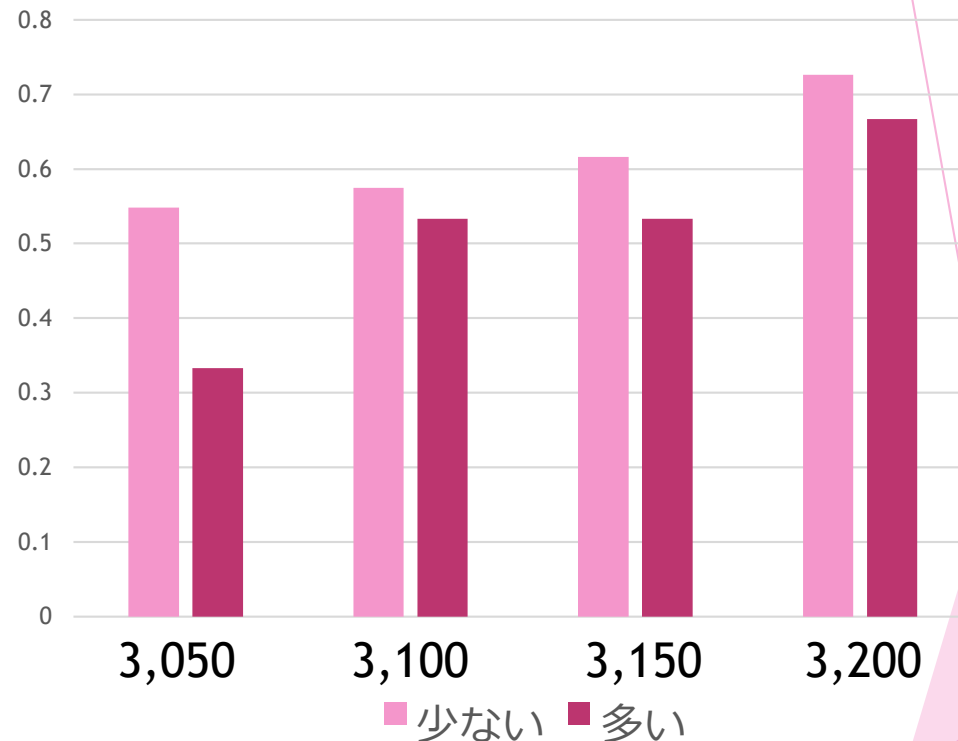
交際人数と時間選好率

A:今日もらう



交際人数多い人→今日お金を貰う人が多い

B:7日後もらう



交際人数少ない人→7日後にお金をもらう人が多い



交際人数が少ない人→我慢強い？

実施したアンケート解説

1. パートナーに不満はありますか。
2. ある日魔法使いが現れました。あなたはまさに思い描いていた理想の人と付き合えると思います。その人と付き合うためにいくらまでなら払えますか。
3. ある日魔法使いが現れました。あなたは現在のパートナーと別れる代わりに魔法使いからお金を貰えるとしたらいくら貰いますか？

設問の意図

▶ 設問 2・3

... パートナーに'値段'をつける

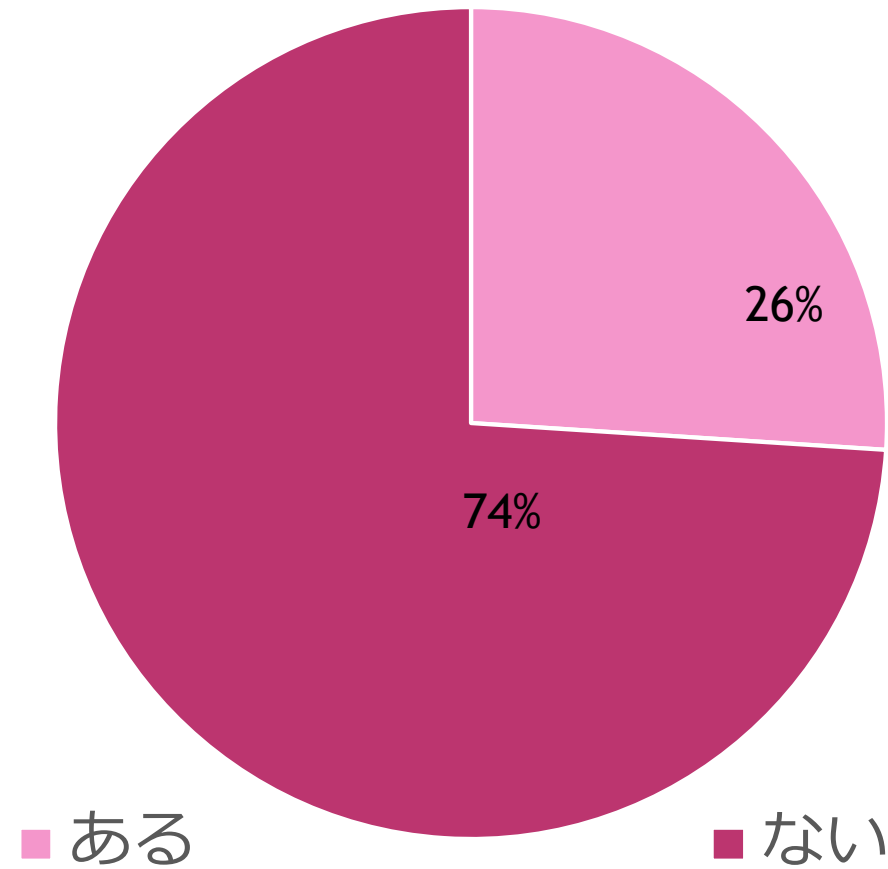


設問条件における合理性

- ▶ 設問 1 において**不満あり**と答えた場合
 - ... 現在のパートナーは
理想のパートナーではない。
- ▶ パートナーの‘値段’は
 - ... **理想 > 現在** となるのが**合理的**

1.結果

パートナーに不満はありますか。



2.結果

理想の人と付き合うためにお金を払う。

▶合計 **5,940,850円**

▶平均 **396,056円**

3.結果

現在のパートナーと別れる代わりにお金を貰う

- ▶合計 **35,888,550円**
- ▶平均 **2,392,570円**

設問2.3間の差異

▶ 合計 41,829,400円

▶ 平均 1,996,514円

一人当たり約200万円の差が出た

なぜこの矛盾が生じるのか

- ▶ '経済人'と'人間'の選考の乖離
- ▶ 人間はたびたび、'非合理的'な行動をしてしまう

認知バイアスの働き

- ▶ プロスペクト理論 ... 損失回避性
- ▶ コンコルド効果 ... サंकコストバイアス
- ▶ 現状維持バイアス ... 保有効果

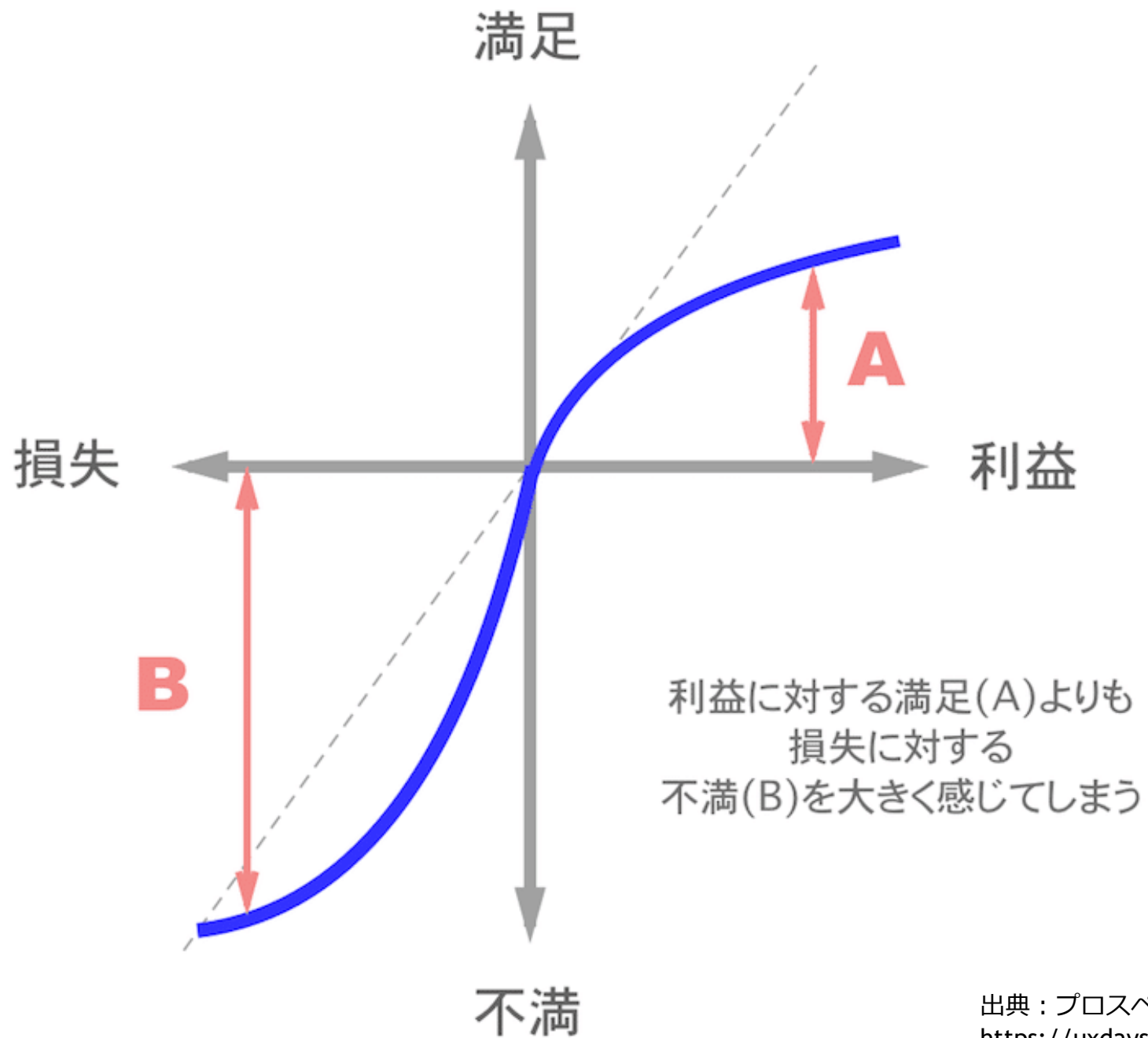


損失回避性

利益 < 損失

と、損失を過大評価しやすい





サunkコストバイアス*

投資をしつづけることが損失につながると
わかっているにもかかわらず、
それまでの投資を惜しみ、投資がやめられない状態

* サunkコスト...どんな策を尽くしても回収できない費用

経済学的には↑無視することが合理的

日常生活では...

- ▶ 期間限定商品、返金サービス
- ▶ ソシャゲに課金しすぎてしまう
- ▶ '押し'に貢ぎすぎてしまう
- ▶ ダメな恋人とだらだらといつまでも付き合ってしまう



現状維持バイアスと保有効果

- ▶ 人間は一般に現状維持 (Status quo) を好むというバイアス
- ▶ 保有効果: 同じモノでも、保有前より保有した後の方が高い価値を感じる効果
 - ▶ 付き合う前の価値 < 付き合った後の価値
- ▶ 約200万の差は保有効果による可能性もある？



調査結果との照合

- ▶ 現在のパートナーにバイアスがかかる
⇒ 経済学的合理性を欠く

- ▶ 損失回避性

理想の彼女を得る効用 < 現在のパートナーを失う損失

- ▶ サンクコストバイアス・保有効果

現在のパートナーと過ごした日々



まとめ

- ▶ 行動経済学では人間の「心のクセ」を学ぶことができる
- ▶ 恋愛をはじめとする人間関係においても応用できる
- ▶ 合理的 = 幸せ (= 効用) とは限らない... ?

